

# ひろしま ゆいマップ ~since2007~



## こんな時こそ つながる喜び

～ 始めてみませんか! そろり、ゆっくり、のんびりと ～

### ☆広島市立広島特別支援学校地域活動推進事業☆とは

広島市立広島特別支援学校児童生徒の地域における交流の促進や、社会生活に必要な事項を学ぶ機会を提供するとともに、完全学校週五日制の実施に伴い、活動の場作りを推進し、児童生徒がより充実した生活を送ることができるようにするために、広島市より助成を受けて行っている事業です。



### ～ コロナ禍での活動 ～

あらためて、この活動の大切さを実感しました。工夫して頑張っています!

### 活動グループ紹介

こぐまかい ぞうくんのさんぼ ちゅうりっぷの会 カムカムクラブ にこにこくらぶ  
もこもこくらぶ きらり☆ おおくまかい とげがささる あうあう あいうえおにぎり  
動作法の会 出島ヒップホップ 東雲(しのめ) マイキーズ+(プラス) はなまる  
シャイニング はなまるキッズ ゆうあい広島サッカーチーム 広島市障害者陸上クラブ  
(20団体 掲載順)



:ボランティア募集グループ

昨年度から新型コロナ感染拡大の影響を受けて、地域活動推進事業の各活動グループは参加者の安全を確保するため、感染防止対策の検討及び、行事内容や実施場所の検討、行事の実施の可否の判断等、色々悩み試行錯誤しながら活動を続けています。



活動グループの主催者の思いを一部紹介します。

- 緊急事態宣言等の発出に伴い行事を中止した際、がっかりしたという声とともに、次の行事を楽しみに思う気持ちが増幅しているという参加者の声を聞いて、あらためてこの活動の大切さを痛感した。
- コロナ禍だからこそ、グループの活動を楽しみにしているという声を聞き、その気持ちに何とか工夫して応えなければという責任を改めて感じている。
- 利用施設が感染防止のため臨時休館となり、プールを利用できないことの理解が難しい子どもたちに、どう説明して理解してもらおうか、悩み試行錯誤している。
- 多くの制約はあるものの、その中でルールを順守し、マナーを実践することが、社会性・協調性を身につけるチャンスと捉えている。
- 地域の介護施設をお借りしての活動ができなくなり、地域の方々とのふれあい・関わりが薄くなるのが残念だが、引き続き活動を支援していただくことに感謝して、少人数だからできること、小さな楽しみ、身近な楽しみを発見し、今できることを楽しんでいる。
- メンバーにとって、余暇活動は精神を安定させるためにも必要なものだと考える。感染防止対策を徹底したうえで、回数は少ないが、実施できる行事を行っていきたい。

このように、各グループとも地域活動推進事業への熱い思いを持ちながら、感染防止対策を徹底し、工夫しながら活動しています。今後とも地域活動推進事業への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。



以下、各活動グループが行っている感染防止対策の一例を御紹介します。  
(20グループの統一した対策ではありません。)

●活動計画について

- ・福祉バス利用時には、乗車人数が定員の2分の1以下になるように、バスの台数を確保する。
- ・食事をする場合は、密にならないように屋外で弁当を食べる。
- ・バスハイクの行事であるが、自家用車で現地集合してもらう。
- ・行事によっては、午前・午後の二部制にして参加者を分散し、密にならないようにする。
- ・密になることを防ぐため、園芸や区役所が作成している散策マップを利用するなど、屋外の行事を増やす。

- ・ 食事は各家庭で行い、その様子を LINE 等で情報交換する。
- ・ オンラインで行事を実施し、名前の呼びかけやラジオ体操、音楽に合わせて楽器を鳴らすなどして自宅での運動を促す。
- ・ 「アウトドアで」、「少人数で」、「家族単位で」を前提にしながらも、可能な限りメンバー同士のつながりを感じられる活動を計画する。
- ・ コロナ禍によって練習量が減り、体力が低下しているので、熱中症になるリスクを踏まえ、できるだけ涼しい時間に練習する。(運動系グループ)
- ・ 室内練習場は使用しない。(運動系グループ)
- ・ 換気と互いの距離を保てるよう、福祉センターなどの広い会場を使用する。
- ・ 活動場所は、できるだけ移動時間を短縮するため近隣の場所を選ぶ。また感染防止対策が徹底している場所を選ぶ。
- ・ グループとしての活動ができない期間は、家族単位でお出かけした情報を LINE 等で交換する。

### ●活動前の取り組み

- ・ 参加者には、開催日の2週間前からの健康状態（発熱、体調不良等）、行動履歴（多人数の会食やカラオケ、県外への移動、身近な人に陽性者あるいは濃厚接触者がいないか等）をセルフチェックしたうえで、確認項目に該当する場合は参加しないよう徹底する。
- ・ 体調管理、手洗い・うがい・換気・消毒の徹底や密を避ける方法、トレーナー・トレーナー・スーパーバイザー・保護者と対象者とのかかわり方などについてルールを定めたガイドラインを独自に作成した。(運動系グループ)
- ・ 各家庭での体調管理を徹底し、参加する前には必ず検温を行い、体調が悪い場合は参加しない。

### ●活動の場での取り組み

- ・ 全員当日会場に入る際、手指の消毒をし、体温を計測し記録しておく。
- ・ 活動の開始前と終了後には、除菌ウェットタオルで、テーブルや椅子など拭く。
- ・ 使用する会場では窓を開けて換気し、座席の間隔をできるだけ空ける。
- ・ 参加者は全員マスクを着用するが、マスクを着用できない参加者が多いので、支援者がフェイスシールドと手袋を着用する。
- ・ 参加者には除菌シートを持参してもらい、随時除菌するようにする。
- ・ 参加者をグループに分け、1グループの活動時間を30分以内に制限する。グループの入れ替え時には10分間の換気を行う。(運動系グループ)
- ・ 更衣をする時は、マスクを着用し、風通しの良い場所で、密にならないよう床に目印を付け、互いの距離を保つ。



# —地域活動推進事業 活動グループ—

1



障害のある子どもたちの休日を豊かにするために

## こぐまかい



＜こぐまかいの「はじまり」と「ねがい」＞

1992年の学校週五日制のはじまりを期に障害児子どもまつり実行委員会の呼びかけで誕生。本来「休日は楽しいもの！」をモットーに活動しています。活動拠点は中区ですが参加者は市内各地から集まっています。特別支援学校、特別支援学級の小・中学生を中心に幅広い参加です。2009年度から高校生および卒業生は新たに「おおくまかい」として活動をはじめました。2020年度からは感染症対策を考慮しつつ、活動を続けています。

＜活動日時＞

毎月1回、土曜日あるいは日曜日・休日に活動。活動時間・場所は内容によって変わります。

＜活動内容＞

毎月1回の活動はなるべくバラエティーに富む内容を用意し、興味等に応じて参加できるように考えています。コロナ禍の昨年度は、花見、バス遠足「アクアス」、バス遠足「動物園」、バス遠足「雪あそび」（写真）、ボウリングなどを実施しました。参加は、随時受け付けています。

＜問い合わせ・参加希望・ボランティア希望の方は以下の連絡先までお願いします＞

○連絡先：こぐまかい事務局＝幅野勇生 TEL090-9509-9544（日中は留守電）

Fax082-942-2419

e-mail=kogumakai1992@gmail.com



2

## ♪ぞうくんのさんぽ♪

子どもが同じ通園施設を卒園した6家族で月1回の活動をしています！  
ほとんどが社会人ですが、仲間に会えるのを楽しみに日々の仕事や作業、学業とそれぞれが頑張っています。でも今はコロナ禍で思うように活動できず…  
感染対策や内容を見直しながらやっていますが、元通りの生活に早く戻ってお出かけできるようになるのをみんな望んでいます。



【フェイスシールドをつけてイチゴ狩り】

【創作活動・テラリウム↑・スワッグ作り↓】



活動内容 バスハイク・陶芸・美術館巡り  
クリスマス会・ボウリングなど

連絡先 082-248-4375 板本

## ちゅうりっぷの会

西区を中心に南区、佐伯区から、下は小学生、上は40代前半のなかまが毎月約20人集まります。毎月1回、バスハイキングや鈴峯公民館などワイワイガヤガヤ楽しく活動していましたが、コロナ禍で昨年度は5回、今年度はまだ1回しか活動できていません。活動にあたって気を付けていることは、毎回参加者名簿を作り、検温、体調を記入してその記録を1か月保管します。またマスクの使用、手洗いなど徹底して行っています。一日も早くコロナが収束して思いっきりみんなとおしゃべりできる日を楽しみにしています。

### 【昨年度の活動】

- 7月 バーベキュー大会
- 8月 ボーリング大会
- 9月 スマジ交通ミュージアム見学
- 10月 ウサギの島『大久野島』見学
- 11月 ミカン狩り『蒲刈恵の丘』



### 【今年度の活動】

- 4月 徳山動物園見学
- 10月 バーベキュー大会（予定）
- 11月 未来心の丘『瀬戸田』見学（予定）
- 12月 カレー作りとクリスマス会（予定）
- 1月 豚汁とおにぎり作り（予定）
- 2月 けん玉教室（予定）
- 3月 早咲き桜『上の関』（予定）



- 活動日 毎月1回
- 活動場所 鈴が峰公民館 福祉バスで野外へ
- 連絡先 代表 迫田真由美  
電話 090-4570-6727

## カムカムクラブ

安芸区で活動する高等部・社会人の仲間のグループです。カラオケでおもいきり歌ったり、平和マラソンで走ったり、地域の行事に参加しておしゃべりしたりする中で、仲間と交流し楽しい時間を過ごしています。これからも自分の好きなことをたくさん見つけて、余暇を充実させていきたいと思っています。



- ★活動日 毎月1回（土曜日または日曜日）
- ★活動場所 安芸区船越地域福祉集会所・広電ボウル  
・ビッグエコー広島船越店 他
- ★活動内容 ボウリング・バス遠足・カラオケ  
・平和マラソン・食事会 他
- ★連絡先 池田 成美  
TEL/FAX 082-823-7117



## 5

## 安芸区障がい児サークル にこにこくらぶ

安芸区と周辺地域に在住の障がいをもつ子どもたちが、休日  
を有意義に過ごせるように、いろいろな楽しい活動を行って  
います。また、障がい児を育てている保護者同士の交流も、  
和気あいあいと楽しく行っています。ぜひ、お気軽に遊びに  
お越しください。＼(^o^)/

- ◆活動日時 毎月1回 土曜日又は日曜日(14:00~16:00)  
※活動内容により時間の変更あり
- ◆活動場所 安芸区地域福祉センター・瀬野福祉センター  
・瀬野川乗馬クラブ・OKOSTA 他
- ◆活動内容 乗馬・お好み焼き体験・バス遠足・工作  
・室内遊び・食事会 他  
地域の行事に参加(交流会・クリスマス会 他)
- ◆連絡先 山西 庸子  
(TEL/FAX 082-893-2749 スマホ 090-9415-7594)



## 6

### 障害児・者サークル もこもこくらぶ

「もこもこくらぶ」は、最近にぎやかになってきた、広島駅北口(エキキタ)あ  
たり(東区二葉学区)で活動している障害児者グループです。コロナ禍で、二葉の  
里の散歩を中心に感染予防を考えて楽しんでいます。障害は様々で、一番ちびっこ  
は小1さんから上は30代までいます。

#### 令和3年もこもこくらぶ活動予定

- お花見●JRに乗っていこう!(尾道さんぽ)
- サンフレッチェを応援しよう!
- 二葉の歴史散歩道散策 ●クリスマス会
- 初詣 など

連絡先 ヨシカワ

電話&ファックス 082-264-3063

Eメール [nonomi63@mac.com](mailto:nonomi63@mac.com)



## 7

## 福木地区障がい児・者サークルきらり

私たちは毎月1回、主に第2日曜日に地域にある特別養護老人ホーム虹の里 第1デイサービスルームをお借りして様々なレクリエーションを楽しんでいます♪ 施設の裏の公園で外遊びをすることもありますが、基本は同じ場所・環境での活動なので障がいの重さを気にすることなく、車椅子の仲間や場所や環境になじむのに時間がかかる仲間も安心して参加できます。

☆今年度は昨年に引き続きコロナの影響で状況を考慮し、少人数でお出かけ型の活動をしています。



参加は親子、ヘルパーさんとペア、単独  
でと様々です。ぜひお気軽に見学・体験  
してみてください♪

活動日時：毎月第2日曜日 9:30～12:30

活動場所：特別養護老人ホーム虹の里 第1デイサービスルーム

連絡先：森脇 090-4109-6471

## 8

障害のある子どもたちの休日を豊かにするために

## おおくまかい

<おおくまかいのスタート！ 2009年～>

1992年から活動している「こぐまかい」を母体に、2009年度に新たに誕生したのが「おおくまかい」です。「おおくまかい」は、特別支援学校の高校生や卒業生（成人を含めて）を主な対象とし、活動の準備や片付け、下級生への指導など青年らしい活動内容をめざしています。モットーの「休日は本来、楽しいもの！」や活動拠点（主に中区）などは「こぐまかい」と同じです。2020年度からは感染症対策を考慮しつつ、活動を続けています。

<活動日時>

毎月1回、土曜日あるいは日曜日・休日に活動。活動時間・場所は内容によって変わります。

<活動内容>

参加者の希望を取り入れバラエティーに富む内容を用意しています。興味等に応じて参加していただければと思います。コロナ禍の昨年度は、花見、バス遠足「アクアス」、バス遠足「動物園」、バス遠足「雪あそび」、ボウリング（写真）などを実施しました。参加は随時受け付けています。

<問い合わせ・参加希望・ボランティア希望の方は以下の連絡先までお願いします>

○連絡先：おおくまかい事務局＝幅野勇生

TEL 090-9509-9544（日中は留守電）

Fax 082-942-2419

e-mail= kogumakai1992@gmail.com

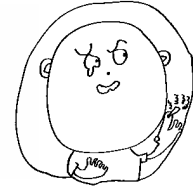




発達障がい者 アウトドアサークル

## とげがささる

色んな捉え方、考え方に触れる機会を持ち、  
心を柔らかくして身軽に生きよう。



とげがささる

外に出よう！ 楽しもう！

アウトドアを通して、

心豊かに、強く生きる力をつけよう！

【運動基礎能力向上】 ウォーキング・海水浴・カヌー・アスレチック・マラソン  
【興味・関心の幅拡大】 フィッシング・サイクリング・乗馬・くだもの狩り  
【社会性・協調性・対人関係強化】 ピクニック・ディキャンプ・バーベキュー  
【身辺自立、他者との共生力の育成】 キャンプ・男子合宿 etc.  
【天候によって】 ボウリング・カラオケ・電車・食事会 etc.

(代表) 中 曾 勝 士

連絡先: hiromi@nakaso.com

T E L : 082-507-0352

## 障がいのある子どもと家族の会 あうあう

西部療育センター「なぎさ園」の卒園生とその家族

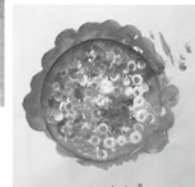
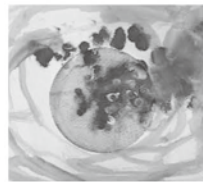
9組で2010年に結成した団体です。

主に、第1、第3土曜日に集まりボランティアの先生にも  
お手伝いに来ていただいて季節ごとの行事を取り入れた  
活動をしています。

また月に数回「親あうあう」を開き、今後の活動について  
話し合ったり、親同士のコミュニケーションをとっています。

今年は外出が難しかったため 公民館での「アート」や

「紅茶染め」「ウクレレの会」などを楽しみました。 ☎ 大畑 080-5231-0299







# あいうえおにぎり

通園施設で同じ時間を過ごした仲間と集まって家族ぐるみでお出かけやコンサート鑑賞等を楽しんでいます。

細々と続けて、今年で8年目になりました！

学校、クラス、住んでいる地域は違っても一緒に余暇活動を楽しみ、成長して様々な変化があってもずっと仲良しの友達でありあいうえおにぎりという変わらない存在でありたいと思っています。



- ▲ 活動日 毎月1回 日曜日
- ▲ ボランティアさんの参加お待ちしております
- ▲ 連絡先 松浦 洋子 090-9415-4925

## 動作法の会

動作法は、からだを動かそうと思い、からだを動かそうと努力し、結果として、からだ動くのですが、動作が不自由なのは、努力の仕方に問題があるからだと分かり、努力という心の活動を援助する心理療法です。トレーナーとマンツーマンでの実践を中心とした訓練で、体の動きを自分で調整できるようになる事を狙いとしています。多動や対人関係の問題も改善が見られています。

毎月1回の月例会と年1回の心理療育キャンプを行っています。キャンプでは、朝の会から夕食後まで生活を共にして、動作訓練、集団療法、生活指導がなされます。もちろん楽しいこともいっぱいです。



- ☺活動日時 毎月1回(第4土曜日)
- 📍活動場所 広島市心身障害者センター
- 🚶活動内容 機能改善訓練
- 📞連絡先 儀本優子
- ☎TEL・FAX 0823-23-0278

## 13

### 出島ヒップホップ

出島ヒップホップはダンスの好きな本校高等部生徒と卒業生が集まったグループです。

外部講師を迎えて、月に1回、ヒップホップダンスの

練習を行っています。これまでに「障害子どももま

つり」や「みなとフェスタ」に出演しています。今年も

コロナ対策をしながら楽しく活動しています。そんな

私たちと一緒に楽しく踊りませんか？

連絡先 082-250-7101

広島市立広島特別支援学校 高等部 江口まで



## 14

私たちは広島大学附属東雲中学校を卒業した高等部1年生～すでに定年を迎えられた大先輩まで、幅広い年代が集うグループ「東雲」です。

月に一度、世代を超えて縦横ナナメ？の絆を深めつつ料理教室やボーリング大会、小中学生と一緒に運動会・交流発表会などを楽しんでいましたが…昨年4月以降、新型コロナウイルス感染拡大により予定していた活動のほとんどが中止になりました。

今年度は「なにができるか!?!なにならできるか!?!どうしたらできるか!?!」をみんなで考え、密にならないよう広い会場を借り、いつもとは違う内容で4月「新入生を迎える会」7月「進路を語る会」をしました。今年度は昨年できなかった小中学生との合同運動会・交流発表会も規模を縮小・時短で開催できるよう準備をすすめています。



1日も早くみんなで大きな声で笑ったり応援したりできる日が来ますように…その時はグループの垣根を超えて色々な方と一緒に楽しいことが出来たらいいなと思っています。

お声かけはこちら↓

栗田 aya411117@gmail.com

# マイキース+ (プラス) です!

私たちは、おもに南区に住んでいる小学生から青年までの幅広い年代のグループです。  
「一人一人の思いを大切に」をモットーに楽しんでいます。

本人達は人との出会いから得る事が多く、そしていろんな経験を通して成長していきます。  
一緒に活動してみませんか？まずは連絡してくださいね。ボランティアさんも大募集！！  
コロナ感染症予防に留意しながら活動しています。

## ☆活動予定

祇園・山本散策、卓球  
七夕飾り作り、クッキングなど

## ☆連絡先

中島 恵  
(TEL 090-8608-0666)



# はなまる

～あつまる つながる ひろがる はなまる～

2019年、市特、廿特、広特、地域の学校に通う小学生から高校生と、その家族12組で発足しました。  
今年度も外出活動を自粛しながら、福祉センターを拠点に、リトミック、クリスマス会などの活動をしています。

月に一回程度、今後の活動についての話し合いを設けて、親同士のつながりも大切にしています。子ども達にとって無理なく、楽しめる活動にしています。

※現在メンバーの募集はしていません。

- ★活動日時 毎月1回 日曜日
- ★主な活動場所 佐伯区地域福祉センター

代表 高村 恵子  
TEL (082) 274-2256



## シャイニング

シャイニングは、広島市心身障害者福祉センターのプールを主な活動拠点としているスイミングのサークルで、幼稚園から成人までの幅広い年齢の人たちが仲良く水泳の練習に取り組んでいます。皆さまにどのような雰囲気なのか、少しご説明いたします。

練習日は土曜日の午前と日曜日の午後で、水を怖がるお子さまから、クロール・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライが泳げるお子さままで、皆で楽しく練習しています。また、練習の後は楽しいお茶会も開いたり、和気あいあいとしたサークルです。皆さまも一緒に水泳を楽しみませんか☆？  
ご参加をお待ちしております。



連絡先: 高島 文子  
携帯番号: 090-7976-4468  
FAX番号: 082-877-4943  
活動場所: 広島市心身障害者福祉センター

## HBG 重度・重複障がい児スポ・レク活動教室「はなまるキッズ」

「HBGはなまるキッズ」では、身体、および知的にも重い障害があり、中には吸引や注入などの医療的ケアを必要とする子どもを対象としたアダプテッド・スポーツ（障害等の種類や状態等に適合させたスポーツ）を毎月1回実施！子どもが家庭や学校・病院以外で「楽しめる場所づくりをしたい！」「参加できるスポーツ教室を定着させたい！」という思いから、2007年4月に活動を開始してから15年が経過。2017年「博報賞・特別支援教育部門」、2018年「広島県あいサポート運動企業・団体表彰（広島県知事）」受賞！現在、5歳から19歳の子どもたち82名が登録し毎月1回の教室に子どもたちが主役になって楽しく！笑顔で！参加し、ボランティア支援者と一緒にスポーツ活動を楽しんでいます。たくさんのご参加をお待ちしています！

今後の活動の予定 10/30、11/27、12/25、1/22、2/26、3/26 → 広島市立広島特別支援学校・体育館  
7/31、8/28 → 広島市心身障害者福祉センター・プール（4～9月は終了済）

スクーターボード



ベンチ椅子体操



プール運動(7・8月)



教室時間：10:30～12:00

第4土曜日を基本 参加費 300円/1回

連絡先

代表者: 加地 信幸(広島文化学園大学)  
連絡先: 082-884-1001 (代表)  
E-mail: kaji@hbg.ac.jp

現在、ボランティア支援者として、特別支援学校教諭、理学療法士、看護師、福祉施設職員等、教育・医療・福祉職の方が114名登録！大学生支援者も146名が登録！

「HBGはなまるキッズ」では、子どもたちを直接抱きかかえたり、手足を動かしたりしながらスポーツ支援ができる「障がい者スポーツ指導員」を育成することも目的としています。興味・関心をもっていただけの方からのお問い合わせをお待ちしています。



### 《ゆうあい広島サッカーチーム》

ゆうあい広島サッカーチームでは、現在10代～40代までの青少年（女性もOK）20名程度、監督やコーチなど、チームスタッフは合わせて4名で、主に第2・4日曜日に広島市立広島特別支援学校のグラウンドを使わせていただき、まずはサッカーを楽しむこと、そしてもっと技術が上達することを目標に練習に取り組んでいます。

皆、ただサッカーが好きで集まった仲間たちですが、チームのレベルもどんどん向上しており、これまでに西日本サッカーフェスティバルに1回、ゆうあいピック大会に3回、そして全国障がい者スポーツ大会サッカー競技にも広島市代表として3回出場させていただきました。

全国レベルではまだまだ壁が厚いですが、全国の強豪チームを相手に接戦を演じることができています。

毎年、全国大会出場を目指し練習に取り組んでいます。2018・2019年に開催された中四国ブロック予選では、決勝戦まで進みましたが惜しくも準優勝となり、全国大会出場まであと一步のところでした。

コロナ禍の中、厳しい状況ではありますが今後も全国大会出場を目指し、活動を続けていきます。

よろしくお願ひします。



【連絡先】 似島学園高等養護部 大塚  
Tel(082)259-2165

### 広島市障害者陸上クラブ～広島市 S. A. C. ～

最初は、全国障害者スポーツ大会の参加のために発足しました。まずは、5月に開催される広島市障害者陸上大会を目標に練習しています。でも、大会に出なくとも、健康維持のために参加している選手もいますよ。

広島市スポーツ協会の協力でエディオンスタジアムで練習しています。したがって、エディオンスタジアムが空いている時にしか練習はできませんが、平日 18:00～20:00（不定期）で月2～4回くらい練習しています。雨の日は、室内練習場で練習します。

また、週末には大会参加および市立広島特別支援学校グラウンドで練習しています。

特別支援学校教員の指導の下、選手、コーチなどみんなで成長していきたいクラブです。

【連絡先:能美 fujiki9223044@yahoo.co.jp】



## 市立特別支援学校児童生徒の地域活動推進事業実施要綱

### (目的)

第1条 この事業は、市立特別支援学校児童生徒に対して、地域における交流の促進や社会生活に必要な事項を学ぶ機会を提供するとともに、完全学校週5日制の実施に伴い、活動の場づくりを推進し、児童生徒がより充実した生活を送ることができるようにするため、それらの活動を行う事業に対し、助成金を交付する。

なお、助成金の交付に関しては、広島市補助金等交付規則（以下、「規則」という。）に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

### (助成金交付の対象)

第2条 助成金を交付する事業（以下、「助成事業」という。）の実施主体は、市立特別支援学校に在籍する児童生徒を対象に地域活動を行う地域住民団体等の運営関係者等で組織する市立特別支援学校地域活動推進事業運営委員会とする。

2 助成事業は、次に掲げる事業要件のいずれも満たすものとする。

- (1) 市立特別支援学校に在籍する児童生徒を含むもの
- (2) 企画等の段階から障害のある児童生徒を参画させて行うもの
- (3) 月に1回以上、土曜日等に継続して活動するもの（ただし夏季休業中はこの限りでない。）

3 助成事業は、概ね、次に掲げる活動内容のいずれかにあてはまるものとする。

- (1) 地域との連携や余暇・文化活動の充実を深める活動
- (2) 障害のある児童生徒の理解・啓発を深める活動
- (3) 自然体験や地域の人々との協働を深める活動
- (4) 障害のある児童生徒の社会参加と自立を促す活動

4 前3項の規定にかかわらず、広島市又は広島市が資本金、基本金その他これらに準ずるものを出資した法人等からの補助金等を受けて実施する事業については、本事業の助成対象外とする。

5 助成事業は、助成金の交付を決定した日の属する年度の末日までに行われるものとする。

### (助成対象経費等)

第3条 助成金は、助成事業の実施に必要な経費（以下、「助成対象経費」という。）に対し2分の1以下の額とし、1助成事業あたり9万円を限度とする。

### (助成金交付の申請及び決定)

第4条 助成金の交付を受けようとする市立特別支援学校地域活動推進事業運営委員会は（以下、「申請団体」という。）、助成金交付申請書に次に掲げる書類を添えて、事業実施前までに市長に提出しなければならない。

- (1) 事業計画書
- (2) 予算書
- (3) その他市長が必要と認める書類

2 市長は、前項の規定により、事業が適当であると認めたときは、助成金の交付を決定し、申請団体に通知するものとする。

(助成金交付の条件)

第5条 助成金の交付には、次に掲げる条件を付するものとする。

- (1) 助成金の内容又は予算を変更（ただし、項目ごとの金額の10%を超えない範囲での変更を除く。）しようとするときは、事業計画変更申請書を提出し、市長の承認を受けること。
- (2) 助成事業を中止し、又は廃止しようとするときは、事業中止・廃止申請書を提出し、市長の承認を受けること。
- (3) 助成事業が予定の期間内に完了しないとき、又は助成事業の遂行が困難となったときは、遅滞なく市長に報告してその指示を受けること。
- (4) 助成事業の収支については、そのつど証拠書類を取り揃え、又帳簿を備えてその予算の出納の一切の事項を明確に記入しておくこと。

2 市長は、助成金の交付の決定を受けた申請団体等が、次の各号のいずれかに該当する場合には、交付の決定を取り消し、又は変更し、既に交付した助成金の全部又は一部を返還させることができる。

- (1) 助成金の交付の決定の内容又はこれに付した条件、その他規則、本要綱、又はこれらに基づく指示等に違反したとき。
- (2) 助成事業の決算総額が予算総額に比して著しく減少し、予算の執行が不相当と認められるとき。
- (3) 虚偽の申請その他の不正な手段により助成金の交付を受けたとき。

(実績報告)

第6条 助成金の交付を受けた申請団体等は、助成事業を完了したときは、その完了の日から40日以内又は当該年度の末日のいずれかの早い日までに、事業実績報告書に次に掲げる書類を添えて、市長に提出しなければならない。

- (1) 事業実施報告書
- (2) 決算書
- (3) その他市長が必要と認める書類

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、本事業の実施に関し必要な事項は別に定める。

附則

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この要綱は、令和2年7月1日から施行する。

【編集後記】

昨年に引き続き新型コロナウイルスは猛威を振るっています。まだ数年は元の生活には戻れないとも言われていますが、どのグループも仲間とのつながりや余暇活動の大切さを実感し、今できることをできるよう試行錯誤しながら活動をしています。また、活動を模索するグループの代表者の方々の前向きで力強い思いはこちらの気持ちまで引き上げてもらえるような気がします。健康とは身体だけのことではありません。長く続くコロナ禍で心配されるメンタルヘルス。こんな時だからこそつながりを大切に、楽しく活動して不安な気持ちを吹き飛ばしてみませんか。

【発行元】

広島市立広島特別支援学校内 地域活動推進事業運営委員会  
〒734-0013  
広島市南区出島四丁目1番1号  
Tel 082-250-7101 Fax 082-250-7102

【協力】

広島市ボランティア情報センター  
〒732-0822  
広島市南区松原町5番1号  
広島市総合福祉センター  
(BIGFRONT ひろしま 6階)  
Tel 082-264-6408 Fax 082-264-6416

